



企業の使命と正しい経営

令和7年7月8日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

企業はその人々の生活に基盤し社会との共生を求める。これらは健全な企業の育成である。

これらは太古から貨幣経済における経済の存在は、人々の生活への提供とともに、その資本の獲得を得たのである。

これらは経済学における進歩性において企業の使命を明示し、高い倫理的判断を許容するのである。

またグローバリズムという現実と競争という原則は、企業がその向上を競争において求められるものである。

これら生き残りという企業の必題は自由経済システムの本質なのである。

これらは企業システムの向上において、企業が自動化とともに自己を有するとき、技術の進歩における自己製品とともに企業が新たな現実を自己に有することができるのである。

これらがサーキュラエコノミーという現実において、社会との共生と永続する企業運営を与えるとき、それらは全く新しい企業像を実現するのである。

これらが企業において利益の健全性を有することは社会性におけるその健全な社会市民としての自己を与えられるのである。

これらは企業経営が倫理的判断とともに、永続する世界に対してその必要性とともに自己を行うことなのである。

これら新たな企業システムは自動化とビックデータにおける経営において、そのはるかに高い生産性と効率性における利益の構築を企業が有するものである。

これらが経済の本質の転換と新たな社会システムへの移行を今日世界に与えるのである。